

今回の薬事講習は東京都健康安全研究センターが担当し、食品と医薬品に係る安全確保の取組みについて説明した。

【卸売販売業・再生医療等製品販売業に係る最近の動向について】

東京都健康安全研究センター 広域監視部 薬事監視指導課
流通指導係 課長代理 白川 聡子

最新の立入調査の実績を踏まえ、不適事例やその原因を紹介した。

卸売販売業については、取引先許可状況の管理の不備が多かった。また、今年は、海外に輸出するための許可申請が目立った。また、医療機関で行われている物流管理システム(SPD)の相談やデッドストックを仲介販売したい業者からの相談も多かった。再生医療等製品販売業については、47件に立入調査を実施した。

【健康食品の試買について】

東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課
食品医薬品情報係 主事 大町 勇貴

健康食品に関連する法令、製品や表示・広告に対する規制、食品か医薬品かの判断基準等を説明し、東京都における健康食品の試買調査について、平成28年3月25日に報道発表した平成27年度の調査結果や不適事例を紹介した。店舗やインターネットで126品目を購入したところ、81%に違反又は違反の疑いがあった。

【生薬製剤・危険ドラッグの分析について】

東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部 医薬品研究科
生薬研究室 主任研究員 中嶋 順一

生薬製剤について、当センターで分析を行った検体数、漢方処方エキスの希エタノールエキス含量試験の不適事例や小柴胡湯における成分の過不足や異物の混入事例について紹介した。

危険ドラッグについて、平成26年6月24日の池袋駅で起きた危険ドラッグ乱用による事故を契機に規制を強化したが、規制逃れのため、化学構造の一部を変えた物質が次々と様々な形態で流通している。対策として、当センターで行っている危険ドラッグに含まれる薬物の各種機器分析による解明手法について紹介した。

【違法けし・大麻の見分け方について】

東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部 医薬品研究科
薬用植物園 主任研究員 中村 耕

東京都薬用植物園の沿革や役割を紹介。けしの各種類や、植えてはいけないけしの見分け方、大麻と大麻に似た葉をつけるクレオメ・ケナフとの判別、コカの葉などについて、写真を示しながら解説した。